

戸山

新宿区立戸山小学校

戸山の校内研究

研究主任

今年度の戸山小学校は、『自分の考えをしっかりとつ子』『周りに目を向け、相手の思いを受け止めて気持ちを伝え合える子』に育ってほしいという思いから、『特別活動』を通し、子どもたちに3つの力を育てています。

自己実現力・・・自分に最も適した達成すべき課題を見付け、自分の可能性を発揮する力。

表現する力・・・心に思うこと、感じていることを表情、身振り、言語、ICT等を活用して、相手に伝えることができる力。

協働する力・・・他者と対話したり、協力したりすることによって、目的や課題を共有し、互いのよさや多様性を生かして課題解決に向かう力。

<今年度の研究実践>

最高学年としての理想の姿（6年）

気持ちのよい教室環境（4年）

皆のために自分にできること（3年）

相手を意識した適切な言葉遣い（2年）

つくる人の思いや工夫を考えて食を楽しむ

（1年）

5年生は1月に研究授業を行います。

各学年、身近なところから課題を見付け、理想とする自分に近付くために、目標を立てて実践していく活動を積み重ねています。

ぜひご家庭でも話題にさせていただき、『他者を意識する目と心』を一緒に育てていきましょう。子どもたちの成長の後押しにご協力をお願いいたします。

学年の窓 3年

3年担任

3年生になり、学習内容が増えました。音楽では新しくリコーダーを使い始め、少しずつ上手になっています。総合的な学習の時間では自分たちが調べたことをそれぞれまとめています。また、書写（毛筆）の学習では、慣れない筆遣いにとまどいながらも、止め・はね・はらいに気を付けて文字を書いたり、小筆を使って自分の名前を書けるようになったりとできることが増えてきました。

そして先日、いよいよ書き初めに挑戦しました。普段よりも長い書き初め用の長半紙に堂々とした字を書くために真剣に取り組んでいました。

1月の学校公開では、総合的な学習のまとめや書き初めを掲示しておりますので、ぜひご覧ください。

子どもたちは日々、新たなことを吸収し、成長しています。保護者の皆様にも、その成長した姿をご覧いただけることを願って、これからも指導してまいります。

全国学校給食週間

校長 古谷 勉

新年あけましておめでとうございます。今年も教育活動の充実のため、教職員一丸となって力を尽くしてまいります。よろしくお願いいたします。

今年最初の給食は「七草たまご雑炊、大根なます、さつま芋とりんごのきんとん」です。お正月に合わせて考えられた献立です。近年学校給食の充実ぶりは目を見張るものがあり、栄養・安全性・味はもとより、食文化も考え作られています。かつてはパンが主流であった主食も週3～4回と米が中心になっており、11月には新宿区の姉妹都市・伊那市で収穫された新米も味わうことができました。ご飯に合わせ和食が中心となりますが、外国の料理も提供され、日本はもとより様々な国の料理も食することができます。

栄養士の金澤に話を聞いてみました。

○栄養士として力を入れていること

献立は旬の食材や季節の行事を考え作成している。子どもが食べやすいような味付けを心がけている。

○学校栄養士の魅力

学校給食はふんだんに食材を使える面白さがある。それらを使って、栄養面に留意し、子どもの好むメニューを考えることに魅力を感じる。なかなか家庭では作れないような料理もあるので、そういった料理も味わってほしい。

○子どもたちに望むこと

子どもは見た目で好き嫌いを判断しがちだが、食べやすいように工夫しているので、一口でもいいので食べてくれるとうれしい。

今月24日～30日は全国学校給食週間です。授業で使った給食の調理の様子をまとめた動画を全校朝会でも流し、子どもたちに給食の意義や望ましい食週間について考えさせていく予定です。ある調査によると、朝食をとらずに学校に登校する子どもがいるようです。それでは学習に身が入りません。私自身年齢を重ねて感じるのは、食の重要性です。健康の維持はもとより、仕事の能率を上げるためにも食べることは欠かせません。食は心身の健康を作る源。子どもたちにはしっかりと食べさせたいものです。